

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

- ### 五省訓
- 1.至誠に悖るなかりしか。
 - 1.言行に恥ずるなかりしか。
 - 1.氣力に欠くるなかりしか。
 - 1.努力に感みなかりしか。
 - 1.不精に亘るなかりしか。

「祈りの手術」に感謝の親子

五省会ニュース第五号(七月二十日発行)の巻頭「祈りの手術」ある日曜日、富山医大の善意の応援で、技術の結果が評価され、各方面から大きな反響を呼んだ。手術を受けた中浜浩一君(新潟市五十嵐一ノ町6436石川庄)と、父親の中浜次作さん(函館市日の出町22-36)も、これを読んで、「ことが重大だったのをはじめて知りまし

認識を決定的に

自分の甘さを痛感

「浩一君から」新潟へ戻ってからも五週間がたちました。おかげさまで日常生活にさしたる支障もなく、毎日を送っております。ただ、握力が依然として弱いのには不便です。入院中は、院長先生ならびに副院長先生に大変お世話になりました。

息子の幸福を約束

善意の医術の力が

「浩一君から」思えば去る六月七日の忘れもしない日曜日、富山からの電話で、長男浩一が大ケガをし、西能病院で手術中とのこと。妻と共に富山へかけつけ、長男を見て、これは大変な

医療チームの考え方と実践

左奈田 幸夫

九月二十八日付五省会ニュース第六号、西能院長の学会記事を見ました。私も、この病院学会のどれかに連日参加し、求められた質疑に対し発言した。これらの総括として、医療従事者の医療チームとしての考え方をのべてみたい。

生きる意欲を引き出す努力を

医療の目的が、人間の健康回復への自然的現象の発揚にあるなら、医療チームは各自が自立した技術を相互的にオーバーラップしながら、その目的達成に向かって努力することである。しかし、いかに良いチームのアップロードよりも、病人の生きる意欲、闘病力力の増強がより重要であり、病人の日常生活を楽に送れるようにし、できれば自立して暮らせるよう働きかけるのがチームとしての仕事の基本である。

病人の最大の苦痛は、疾病による苦しみよりも、自分で自分のことができない自立への苦しみである。これに対する技術としては、身体的ケアに対する実践的

て一人の病人をみてゆく共通した総合技術の重要性がきてくる。ケアも看護も同義語と解すると、ここにいる技術とは科学的認識より以前に技術的実践があったといえよう。この実践の積み重ねによって熟練者、エキスパートとなり、科学的解明を加えて専門家、スペシャリストとなるのである。実践的側面を技能といひ、これは熟練者として育つが、技術と技能が統合されて、はじめてより高い実践が可能になるのである。

でも元気です。そして色々話をし、今さらながら医術の力の大きさに感激しております。浩一もつてきました。五省会ニュースで、院長先生の適切な判断と、誠意の手術で、本当に青年の一生の幸福を約束してくれました。何んと申し上げてよいかわかりませんが、一人息子の話をしております。貴病院の正面玄関の「鬼手心」に、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。このたびの西能病院および関係者の方々の好意決して忘れません。息子にも、よく伝えておきます。「よくお礼を申し上げます」と。今は当院は秋イカ漁のイサリ火で夜は大森浜よりながめた津軽海峡は、函館山の夜景と共に、すばらしい眺めです。どうぞ一度来い眺めて下さい。五省会ニュースは大切に保存しておきます。

院長先生、ありがとうございます。ありがとうございました。

あすなろ

進行性筋ジストロフィーという難病がある。全身の筋肉がだんだんやがて力が衰えやがて死ぬ病気で今のところ治療法はない。橋本一俊君は三、四歳ごろこの病気にかかり、体の自由が少なくなってきた。でも私はわりと平気でした。私はまだ子供だったので、この体で生きる本當の厳しい意味を知らないためでした。という。しかし、やがて将来への不安と死への恐怖にさらされ、人生に絶望するようになる。養護学校の高等部に進学したところだ。

熟年の健康

老人健康相談や在宅老人家庭看護訪問、脳卒中後遺症者等に対する在宅老人のためのリハビリテーション活動も活発に行なわれてきていますが、やはりふだんから、とくに熟年からの自らによる、健康への配慮が必要で、そのために大切なのは、まず食生活でしょう。これは、長い間、アフリカで治療、研究している、アイルランド生まれのパーキント博士の報告ですが、アフリカでは先進国にみられるガン、高血圧、肥満、糖尿病、静脈性う、胆石、便秘、冠動脈疾患といった、いわゆる成人病がほとんどないということでした。そのなぞを解く鍵が食生活・食事内容にあったということでした。

また、戦前から日本の長寿村として脚光を浴びている山梨県上野原町の橋本でも、長寿の秘訣はまず食生活であるといわれています。

左の献立例を見ていただくと、戦前は、麦、あわ、ほうとう、大豆、とうもろこしなどが多く食べられていたようです。一見、粗食に思えますが植物性たんぱく質の利用は見事です。コレステロールに悩む現代人の食生活よりは、よほど健康的なメニューといえます。食生活の内容をどうするかは、専門医の先生や栄養士さんなどに相談するのがよく、健康管理を続けていく習慣をつけることが大切です。また、老人の若返りの方法として、若い人と同じような方法もよいでしょう。

熟年は老後に向けての長い助走路に立っています。また、後進も指導しなければならぬ、社会にも重要な責任を負っています。時には、健康のためのプログラムをつくって、子どもたちといっしょに野外でのびのび、体力づくりに励むことも大切なようです。

(野村證券株式会社発行「熟年学入門」から)

山梨県にある「長寿村」の平常食献立例

備考	朝食	昼食	夕食	間食
魚……小いわし、さんま等で卵……週に二、三回	朝 食 粟(米)の煮付(みそ煮) 一人約三〇〇g うどん(夜の残り) (冬菜、ワカメ) 粟飯又は引割粟飯 (米三〇〇g) (麦七〇g)	昼 食 ほうとう(かぼちゃ) 三、四杯 冬菜のおひたし 煮しめ(ごんじやく、里いも) じんじん、ごぼう、ごんぶ	夕 食 酒まんじゅう(塩あん) せいだ とうもろこし団子 おねり (お米と、とうもろこし粉のおかゆ)	間 食 甘藷の切干し、えぞ餅
	地 区 白米飯 (一人約三〇〇g) みそ汁 (冬菜、ワカメ) 生卵又は魚のり	めん類(雑煮)のだし 白米飯 魚又は肉料理 野菜料理 みそ汁	酒まんじゅう お菓子 清涼飲料 (砂糖あん)	

芽生えた使命感

「自分の力を試したい」という単純な動機からスタートした西能整形外科院院長の使命感が、ここから芽生え始めた。

「自分の力を試したい」という単純な動機からスタートした西能整形外科院院長の使命感が、ここから芽生え始めた。

学校を買ったが、場所探しにかけ回る

富山県内、日枝神社近くで、西能整形外科院の敷地を確保し、折戸事務局長と妻の三人で、小切手で二十万円の資金を調達して、手ごころを

富山県内、日枝神社近くで、西能整形外科院の敷地を確保し、折戸事務局長と妻の三人で、小切手で二十万円の資金を調達して、手ごころを

富山県内、日枝神社近くで、西能整形外科院の敷地を確保し、折戸事務局長と妻の三人で、小切手で二十万円の資金を調達して、手ごころを

富山県内、日枝神社近くで、西能整形外科院の敷地を確保し、折戸事務局長と妻の三人で、小切手で二十万円の資金を調達して、手ごころを

富山県内、日枝神社近くで、西能整形外科院の敷地を確保し、折戸事務局長と妻の三人で、小切手で二十万円の資金を調達して、手ごころを

富山県内、日枝神社近くで、西能整形外科院の敷地を確保し、折戸事務局長と妻の三人で、小切手で二十万円の資金を調達して、手ごころを

富山県内、日枝神社近くで、西能整形外科院の敷地を確保し、折戸事務局長と妻の三人で、小切手で二十万円の資金を調達して、手ごころを

富山県内、日枝神社近くで、西能整形外科院の敷地を確保し、折戸事務局長と妻の三人で、小切手で二十万円の資金を調達して、手ごころを

ねんりん

西能病院のあゆみ

西能病院のあゆみ

西能病院のあゆみ

西能病院のあゆみ

西能病院のあゆみ

西能病院のあゆみ

西能病院のあゆみ

西能病院のあゆみ

西能病院のあゆみ

たえず体を動かす

豊かな熟年への健康管理

豊かな熟年への健康管理

豊かな熟年への健康管理

豊かな熟年への健康管理

豊かな熟年への健康管理

豊かな熟年への健康管理

豊かな熟年への健康管理

豊かな熟年への健康管理

豊かな熟年への健康管理

ある日一人想う

一人きりいけど

一人きりいけど

一人きりいけど

一人きりいけど

一人きりいけど

一人きりいけど

一人きりいけど

一人きりいけど

一人きりいけど



夜行列車がトネルをい... こだま

夜行列車がトネルをい... こだま

夜行列車がトネルをい... こだま

夜行列車がトネルをい... こだま

夜行列車がトネルをい... こだま

夜行列車がトネルをい... こだま

夜行列車がトネルをい... こだま

夜行列車がトネルをい... こだま

夜行列車がトネルをい... こだま

健康法の問題 (6)

健康法の目的は丈夫で、かつ長生きすることにある。...

健康法の目的は丈夫で、かつ長生きすることにある。...

健康法の目的は丈夫で、かつ長生きすることにある。...

健康法の目的は丈夫で、かつ長生きすることにある。...

健康法の目的は丈夫で、かつ長生きすることにある。...

健康法の目的は丈夫で、かつ長生きすることにある。...

健康法の目的は丈夫で、かつ長生きすることにある。...

健康法の目的は丈夫で、かつ長生きすることにある。...

健康法の目的は丈夫で、かつ長生きすることにある。...

わたしはこう思う

わたしはこう思う

わたしはこう思う

大切な地域との仲間意識

大切な地域との仲間意識

大切な地域との仲間意識



西能病院 理事 西能正一郎

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

美しいものが 見えてきた

(第七信) 松下英勝

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【第七信】自分は、一日一日を大切に、精一杯の力を生きておられます。富山を、西能病院を、一日たりとも離れた日はありません。何か嬉しいこと、ほんの僅かでも体に進歩があった時、伝えたい、喜んでほしい、キッと喜んでくれる院長や、皆さまに知らせたい!

その気持ち
「伝えたい、喜んでほしい」

「愛は地球を救う」で、こんなメッセージがありました。うまく表現できませんが、「障害のハンディーは「不自由」で、「不幸」ではないのです」と。自分は感動しました。

自分も、障害のムードに酔っている場合ではありません。何か自分の信ずるものには突き進みます。

庭をながめながら、くつろぐ館さん



大地を踏む

⑦

魚津市大光寺二区 信 義さん(五)

館さんが、糖尿病性脱疽(だっそ)の難病で右脚をそっくり取る右股関節離断の手術を西能病院で受け、義足をつけない松葉杖で退院したのは昭和五十一年六月二十一日であった。

「右足のない松葉杖の生活は始まりましたが、長い間苦しんで来た激痛から開放され、天国の気持ちでした。」

そして、なによりも「からだをいたわる」ことに心がけた。無理をすれば、左足に再発の恐れがあるからだ。だから、なるだけ外へでないようにした。

そこで、好きで習った書を生かすことを考えた。「筆

周囲の「心」に包まれて

筆に生き甲斐を見つける

本も読む。

「外へでなくても、近所の年よりたちが毎日のように遊びに来てくれますので、たいくつすることはあります。世間話や、趣味のことを語り合います。それで、話をあわせるため、写真とか植木とか、いろんな本を読んで勉強しています。車で、誘いにきてくれる方もあります。私たちが持つているときが一番楽しいです。無心の境地にもひたれるともいう。これまでに、魚津市民生委員の法名録(四百二十三氏)十冊を書きあげた。各方面の表彰状、感謝状をはじめ年賀はがき、暑中見舞い、その他の宛名書きも引きうけています。

「池のこいをながめてい

が痛くなり、昭和四十一年七月から約四十日間、群馬の草津温泉で湯治したが、きき目はなかった。

昭和四十三年九月、西能病院に入院、右足の第二、三指を切断、その後、下腿切断、義足を装着した。五十年十二月ごろから右下部に激痛がおきた。家族が受診をすすめたが、「二人、館さんは、今日も、放っておいてくれ」と、こ

「あの当時、地区の会計をあずかっておりましたが、もうダメだと思ったこともありませんでした。」

二月七日、担架で西能病院に入院、右下肢全壊死の糖尿病が原病である脱疽と診断され、右股関節離断の手術を受けたのである。

【第八信】五省会ニュース第六号が届き、むさぼり読みました。黒瀬氏、井上氏の近況も、両氏は自分と殆ど同時期入院した人達です。懐かしさ、ひとしおです。

今日の私の手紙、何かお気づきになりませんか。実は今までの便り、すべてサインペンで書いています。

便箋に向かって万年筆で書いては万年筆で書いています。それができるなんて、夢にも思っていないでした。北日本放送のチャンネル1の依頼で西日本放送の方が来て下さり、写真を撮ってくださったのです。とにかく、後日詳しく便

【第九信】五省会ニュース第六号が届き、むさぼり読みました。黒瀬氏、井上氏の近況も、両氏は自分と殆ど同時期入院した人達です。懐かしさ、ひとしおです。

今日の私の手紙、何かお気づきになりませんか。実は今までの便り、すべてサインペンで書いています。

便箋に向かって万年筆で書いては万年筆で書いています。それができるなんて、夢にも思っていないでした。北日本放送のチャンネル1の依頼で西日本放送の方が来て下さり、写真を撮ってくださったのです。とにかく、後日詳しく便

松下さんが北日本テレビに登場した。九月十八日午後六時からチャンネル1・国際障害者年シリーズで、西能病院四階会議室から生中継された。元気に作業したり、食事したり、車椅子でニコニコ動き回る松下さんの姿が、「美しいものが見えてきた」の朗読と共にうつし出された。

画面をじっとみていた院長はじめ、古沢総務長や看護婦さんたちは、一年六カ月ぶりの姿に接し、感慨深げ。

「心身ともに成長したようです」と、喜んでいました。

心身ともに成長 元気な姿をテレビに

医療法人 西能病院の診療体制

急患受付時間 ●年中無休・24時間受付の診療体制を敷いております。●救急車(2台)は、要請により出動致します。

一般受付時間 (日曜・祭日は休診)

診療科目	午前	午後
整形外科	毎日 8:30~12:00	月・水・木・土 (火・金は休診) 16:00~19:00
リハビリテーション科	毎日 8:30~12:00	月・水・木・土 13:30~19:00 火・金 13:30~17:00
内科	火・金・土 8:30~12:00	
形成外科	毎月1回 8:30~12:00	(診察日は受付で おたずねください。)

◆医療コンサルタント (毎週土曜14:00~16:00)

新たに医療相談日を設けました。(院長、又は副院長が相談にあたります) 整形外科の病気はもちろん、関連ある色々な病気について治療・予防のためのアドバイスを致します。又ご希望があれば専門の医師への紹介も致します。お気軽にご利用下さい。事前に、受付に時間予約をして下さい。(TELでも可)

◆メディカル・ソーシャルケースワーク (毎日8:30~17:00)

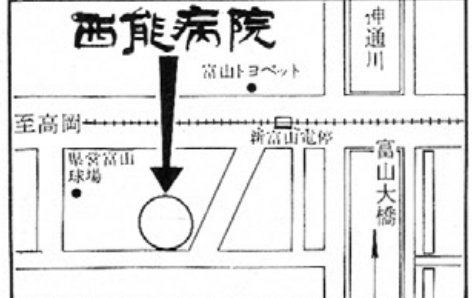
医療費や入院などにかかわる経済問題・退院後の生活設計など、病気以外の心配事や悩みに専門のケースワーカーが親身になってご相談に応じます。(秘密厳守) ご遠慮なく、受付や看護婦に申し出て下さい。

◆栄養指導 (毎週土曜13:30より)

現代病といわれている肥満・糖尿病・その他の病気にたいして、専門の栄養士が理想的な食生活を指導致します。受付にお申込下さい。

◆重病患者さんの送迎について

重症のため、一般の車で搬送できない患者さんには、入退院にあたって、病院の患者運搬車をご利用いただけます。受付に申し出下さい。



《交通機関》市内電車.....新富山電停下車・徒歩2分
 地鉄バス.....新富山停留所下車・徒歩2分
 通院バス(順路).....西能病院→富山大橋→丸の内→新富町→富山駅→桜橋通り→西町→旅籠町→丸の内→富山大橋→西能病院
 (①は通院バス常時停留所、その他臨時停車します。)